

神山中学校：柔軟な教育課程の編成と実践ガイド

文部科学省の指定を受け、神山中学校では「調整授業時数制度」を活用した柔軟な教育課程を導入。各教科の時数を調整して生み出した「裁量的な時間」を活用し、生徒の個性や主体性を引き出す新しい学びの形を提案しています。

柔軟な教育課程の構築

標準授業時数の弾力的な調整



7教科・領域 × -5時間

各教科の時数を5時間ずつ削減し、年間計35時間の「裁量的な学習時間」を創出します。

創出される「裁量的な時間」



対象教科	(国・社・数・理・体・英・総)	創出される「裁量的な時間」
削減時数	各-5時間	年間35時間

全校生徒による合同学習の設定



全学年合同学習枠



毎週月曜日の第6校時を、全学年が共に学ぶ特別な枠組みとして固定します。

2 実践的な学びと主体性の育成

対話力を高める学習手法の導入



Google Classroom

ホワイトボードミーティングやGoogle Classroomを活用し、対話力と課題解決能力を養います。

生徒主体のプロジェクトへの発展



サークル活動

サークル活動や「コトを起こせ会議」を通じ、生徒が自ら校則や活動を企画・運営します。

アントレプレナーシップの育成



社会で生きる実践力

自分の「好き」や「課題」を追求し、社会で生きる実践的な力を構築します。